

施工状況確認検査

二次防水検査

仕様通知書



施工状況確認検査（二次防水検査）を申し込みます。  
本物件の仕様は以下の通りとします。

届出事業者番号	A7000622	届出事業者名	株式会社 栄都	再検査の有無が選択されています。内容をご確認ください。	再検査	
					あり	なし
					■	□
物件番号		物件名				様邸

仕様に対象部位がない場合は、仕様通知書の該当欄に斜線を入れてください。  
各項目において、該当する□へチェックし必要に応じて仕様・数値を記入してください。  
なお、複数の仕様がある場合は、すべての項目について□にチェックをしてください。  
検査は仕様通知書通りであることを確認します。ただし、設計図書のみに記載されている項目は設計図書も確認します。  
下記表中の★の条件を満たさない場合は検査対象外となります。

1-1 屋根(軒、けらば、片流れ棟部)壁当たりの先張り防水シート

- 改質アスファルトルーフィング
- アスファルトルーフィング940
- その他 / 備考 ( )

※先張り防水シートは「JIS A 6005 アスファルトルーフィング940」と同等以上の防水性能を有するものとする。

【検査箇所】

【出典:技報堂出版(株) 防水施工マニュアル(住宅用防水施工技术)2017 P52・P69】

1-2 壁止まり軒部の役物

- 水返し(排水溝付壁止まり役物)
- 雪割り
- その他 / 備考 ( 雨押えを先端加工して折り曲げ排水誘導板を施工 )

【検査箇所】

【出典:技報堂出版(株) 防水施工マニュアル(住宅用防水施工技术)2017 P53・P54】

防水材と防水紙の連続性

防水テープ

水切り仕様 ※外装材下端に水切りを設け、防水テープを介して防水層の連続性を確保する。

その他 / 備考 ( )

【検査箇所】

2-5

防水層の立上り部分と壁面防水紙の取合い部の防水措置 (手すり壁部含む)

【出典:技報堂出版(株) 防水施工マニュアル(住宅用防水施工技術)2017 P84】

笠木部の防水テープの圧着方法

防水部材用のローラー

防水部材用のプレート

その他 / 備考 ( )

3-1

【出典:技報堂出版(株) 防水施工マニュアル(住宅用防水施工技術)2017 P94・P122】

手すり壁(パラペット)上端部の防水措置

鞍掛けシート

※鞍掛けシートは「改質アスファルトルーフィング下葺材 ARK-04s」と同等以上の防水性能(釘穴シール性)を有するものとする。

No.2-1の防水材

その他 / 備考 ( フラッシングシート (フラットーフは別途詳細図より) )

【検査箇所】

3-2

サッシまわりの防水措置	
	<input type="checkbox"/> 一体成形品+三方防水テープ <input checked="" type="checkbox"/> 先張り防水シート+三方防水テープ ※先張り防水シートは「改質アスファルトルーフィング下葺材 ARK-04s」と同等以上の防水性能(釘穴シール性)を有するものとする。
5-2	<input type="checkbox"/> 四方防水テープ <input checked="" type="checkbox"/> その他 / 備考 ( フラッシングシート )
	一体成形品+三方防水テープ      先張り防水シート+三方防水テープ      四方防水テープ

防水テープ・防水紙とサッシ枠のクリアランス	
	<input checked="" type="checkbox"/> サッシ上枠から5mm 程度クリアランスを設ける <input type="checkbox"/> サッシ縦枠から5mm 程度クリアランスを設ける <input checked="" type="checkbox"/> その他 / 備考 ( 玄関サッシはクリアランスを設けない )
5-3	
	【出典:技報堂出版(株) 防水施工マニュアル(住宅用防水施工技术)2017 P124・P125】

貫通部の防水措置	
	<input type="checkbox"/> 一体成形品 <input checked="" type="checkbox"/> 防水テープ <input checked="" type="checkbox"/> その他 / 備考 ( ストレッチガード )
5-4	<b>【検査箇所】</b> 

壁貫通パイプ等の施工状況	
5-5	<input checked="" type="checkbox"/> 壁貫通パイプ等は屋外側に下り勾配をとっている。 <b>必須</b>
	【出典:技報堂出版(株) 防水施工マニュアル(住宅用防水施工技术)2017 P139】

**【軒天井がない場合】防水紙の張り上げ高さおよび片流れ屋根棟部の野地板まわりの防水措置**

7-2 ②	片流れ屋根棟部	防水紙	<input checked="" type="checkbox"/> 小屋裏換気に支障が生じない範囲で垂木まで張り上げ <input type="checkbox"/> 補足事項 ( )
		野地板	<input checked="" type="checkbox"/> 改質アスファルトルーフィング等を張り下げ <input type="checkbox"/> 補足事項 ( )
		まわり	<input type="checkbox"/> 棟包金物で覆う <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の仕様 ( 別途詳細図より )
		選択	

**防水テープの種類**

8-1	確認する	<input type="checkbox"/> ブチル系 ( 部位 : )
		<input checked="" type="checkbox"/> アクリル系 ( 部位 : 貫通部以外の全ての部位 )
		<input checked="" type="checkbox"/> 防水紙との組み合わせがメーカーの指定通りか確認している。
		<input type="checkbox"/> その他 / 備考 ( )
<input type="checkbox"/> 確認しない		

**通気構法の場合の胴縁の施工**

8-2	確認する	<input type="checkbox"/> サッシ周りの胴縁はサッシフィンの上に重ならないように施工
		<input type="checkbox"/> その他 / 備考 ( )
		<input checked="" type="checkbox"/> 確認しない

**貫通口の位置**

8-3	確認する	<input checked="" type="checkbox"/> 給気口
		<input checked="" type="checkbox"/> その他 / 備考 ( 排気口 )
		★設計図書に貫通口の設置位置の記載が必要です。
<input type="checkbox"/> 確認しない		